

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- 1) **真実**かどうか
- 2) **みんなに公平**か
- 3) **好意と友情**を深めるか
- 4) **みんなのためになる**かどうか

1814 例会(平成 21 年 4 月 28 日)

会長挨拶

網中 吉郎

26 日の日曜日、地区ローターアクト・リーダーシップフォーラムが千葉科学大学を会場に開催され、当クラブからは狩野副会長、石井幹事、宮内勝利会員に出席して頂きました。

先週、徳川家康の長生き健康法の中でちょっと話をした前田利常について取り上げてみたいと思います。利常は前田利家の庶子で、兄である加賀 120 万石初代藩主利長の養子となり 2 代藩主になった人です。小さい頃「お猿」と呼ばれ、金沢からも遠い越中の片田舎に里子に出され、関ヶ原の時は人質に送られました。その人質生活で生まれて初めて周りから大切にされ、前田家での生活よりずっと待遇が良かったというほど前田家では可愛がられていませんでした。そもそも人質に出されるということは、万一のときには殺されてしまってもいい人間だということです。ですから利常は元々前田の当主にはなるはずのない立場にあった人でした。その運命を大きく変えることになったのは、人質生活を終えて初めて兄である当主利長との対面でした。利長もこの時始めて弟に会ったのです。利長は、お猿の体格が当時としては 180 cm と異常な大男であった父利家の体つきにそっくりなのに驚きました。すぐに家来を呼んでお猿に養育係の侍 2 人と草履取りを付けてくれ、よく育てよう命じました。これによりやっと若君らしい暮らしぶりになり、元々大きな体がさらに大きく育ちました。子のなかった利長はお猿を養子に決め、名前も利家の幼名「犬千代」を名乗ることになりました。

最大の外様大名である前田家を親徳川化するために家康は、利常に家康の孫娘(2 代將軍秀忠の娘・珠姫)を嫁がせました。しかし、大坂夏の陣において利常は、武将としての天才的な力を現し見事な采配をとり、大変な評判になったことから、こののち家康は利常を危険な存在と思うようになり、「利常だけは殺しておきたい」と考えるようになりました。実際、臨終の迫った家康は枕元に利常を呼び「お前を殺そうと思っていた。それを止めたのは秀忠であるので、秀忠の恩は大きいぞ。何があっても謀反などしてはならぬ」と言ったということです。

前田利常ほど幕府に楯突いた大名はいません。それも「前田家は特別な家柄である」ということを幕府と世間に認めさせることが目的でした。「加賀の前田だけは幕府の思うようにはならない」という政治的な地位を得るためには、どんなにつまらないことでもやりました。江戸城中では禁止の頭巾をかぶったり、登城時にむりやり駕籠で押し通ったり、江戸城中で立ち小便禁止の立て札にわざわざ小便を掛けたりするなど幕府を大いに困らせました。ただ利常の行為は取り潰しにならないギリギリのラインを見極めてやっていたことでした。ここで思い起こされるのは前田利常のエピソードとして有名な「鼻毛の話」です。一般的には、「鼻毛を長く伸ばしわざと馬鹿殿様を演じ、幕府に睨まれないようにしていた」といわれていますが、実際の利常は幕府から常に警戒されていましたので、鼻毛を伸ばしたぐらいで誤魔化すことなどできるはずもありませんでした。確かに利常はわざと鼻毛を伸ばしていましたが、「馬鹿將軍の江戸城に行くのに、わざわざ鼻毛など剃れるものか。伸ばしたままで沢山だ。」というのがどうも利常の本心だったようです。今も昔も家を守っていくことは大変なことなんですね。

幹事報告

- 1・ガバナー事務所
テイスティングセミナー参加のお願い 受領
- 2・ガバナーエレクト事務所より
メールアドレス登録のお願い 受領
- 3・RYLA委員会より
第32回RYLAレポート 受領
- 4・銚子交通安全協会より
総会の開催について 受領

卓話

「物語の醸成：日本人の魂の癒し方」

下掛宝生流ワキ方能楽師 安田 登 氏

能の物語を単純化すると次のようになる。

放浪する旅人(ワキ)が、ある場所を通りかかる。すると、そこに里人(多くは女=シテ)が現れて会話が始まる。ふたりの会話の中で、女はやがて昔語りを始める。そして昔語りの最後に、「実は私こそ、その昔語りの主人公の幽霊である」ということが明かし、彼女は姿を消す(ここまでが前半)、気がつけば辺りは暗くなっている。旅人が半睡半醒の



境で幽霊との再会を待っていると、幽霊が昔の姿で再び現れ、語りつつ、舞を舞う。

そんな物語だ。能の物語で注目したいところは二つある。ひとつは時間、そしてもうひとつは旅だ。

能の物語には二つの時間が流れている。ひとつは旅人の時間。これは私たちの時間と同じく過去から未来へと流れる《順行する時間》である。が、女（実は幽霊）の時間は違う。彼女は出会った瞬間から話を昔へ持っていくとする。彼女の中には、現在から過去へと流れる《逆行する時間》が流れている。それがピークに達するのが、彼女が実は過去の幽霊だったということが明かされる瞬間である。このとき、二人の場はすごい力によってググッと「昔」に引き戻される。

「今は昔」になるのである。

この能の時間の構造は、お通夜やお盆などにも残っている（残っていた）が、そのことについては紙幅の関係で省略して、ここでは旅の話をしよう。

鎌倉時代、江戸時代などと、時代を表すのに「場所」で表現するという特異な文化を日本人は持っている。「時代」がついた場所は、もうただの場所ではない。場所は歴史を持ち始める。いや、正確に言えば、場所は「物語」を持つのである。本当のことを言えば「時代」などがつく必要はない。日本のすべての場所は物語を持っている。それはまだ全国に残る美しい地名が物語る通りである。

さて、能の旅人の多くは何かの理由があって、今まで属していた組織から追い出された者たちだ。リストラをされたり、定年になったりと、自分の意志ではない組織からの強制的な離脱は現代でもある。

日本人は昔から組織や共同体の中で自分の物語を紡いできた。あるときは英雄になり、あるときは悲劇の主人公になり、あるときは三枚目になり、などなど。だから組織や共同体から追い出されるということは、物語を剥奪されてしまうということなのだ。

物語がなければよって立つ所もない。どこに足を置いたらいいのかわからなくなる。深い暗闇が大きな口を開いている、そんな穴の上に立たされた時のような不安に陥る。

そんな時、昔人は旅をした。物語を喪失した旅人はあてのない旅の途中で、ある場所と出会う。場所は物語を持つ。そこで彼は歌を謡う。彼が今まで生きてきたのは現実的な叙事的な世界だ。しかし、組織から追い出され、物語を失ったとき、今まで確固たるものだと思っていた叙事的な世界がガラガラと崩れ、極めて不安定なものだということを知り、だからこそ、歌を謡う。歌は抒情的世界に属する。抒情的世界は、表層的には不安定でありながら、しかしその根底が真理につながっているがゆ

えに実は強固な世界なのである。

歌を通じて彼は土地の物語と出会い、そしてその物語との出会いによって、喪失した自分の物語も再び紡がれる可能性を体感する。むろん、それは一朝一夕にはいれない。ゆっくりと時間をかけて醸成される必要がある。しかし、その可能性が見えるだけで、彼は再び生きることができるのである。

「生きる意味」とか「自分探し」というのは日本人にはあまり合わない。そういう硬質な方法論ではなく、ぶらぶらはぐれ旅をしながら、物語が再び紡がれるのを待つ、そんなゆったりとした方法で日本人は昔から、その魂を癒してきたのだ。雇用不安などによって自殺者が後を絶たない現代、能や日本の古典が教えてくれることも多いのではないだろうか。

『友』インターネット速報

2009年4月28日 NO.379

イタリア大地震の被災者に迅速な支援の手

4月6日、イタリア中部で大地震が発生、300人近い犠牲者が出ました。そのわずか数時間後、シェルターボックスのボランティアチームが、家を失った数百世帯に、245個の救援物資セットを届けました。

この大地震により、数万人がホームレスとなり、山間地帯にある町、ラクイラで、少なくとも1万5,000棟の建物が全半壊の被害を受けました。

地震被害による混乱の中、シェルターボックスの救援チームと地元のロータリアン、そしてイタリアの市民保護団体が一体となって、アッセルジ村の近くに5つのテント村キャンプを設置しました。

世界中のロータリークラブが支援している草の根の災害救援団体、シェルターボックスでは、テント、毛布、浄水装置、調理機器、そのほか生活するのに必要な基本的な道具や物資の詰まった箱を提供しています。この箱で、10人家族が6か月間生活することができます。

最も被害が大きかったのは、アルバニアとイタリアの一部を含む第2090地区です。同地区は、被災地への中期的・長期的な救済プロジェクトについて話し合うため、今後2週間以内にイタリアのほかの9地区と会合を設ける予定です。

また、最も被害が大きかった地域社会にエンジニアと建築家を派遣し、専門技術を提供する予定です。長期的には、地元ビジネスの再建を支援する計画を立案中です。災害援助を支援する方法はこちらをご覧ください。

<http://www.rotary.org/ja/serviceandfellowship/DisasterRelief/howtohelp/Pages/ridefault.aspx>

ニコニコ

網中吉郎会長・石井哲也幹事

4月26日千葉科学大学で地区ローターアクト・リーダーシップフォーラムが開催され、当クラブからも3名出席して頂きました。これで府外行事がひとつ終わりました。

狩野勉君

第2790地区ローターアクトクラブのリーダーシップフォーラムが「食の安全」のテーマで千葉科学大学で開催され、無事終了しました。ご協力ありがとうございました。

第10回ロータリー日韓親善会議のご案内

2009年9月4日(金)・9月5日(土)

会場: Grand Hyatt Seoul (韓国)

登録料: 22,000円

登録締切: 6月15日(月)

親善会議プログラム要旨

2009年9月4日(金)

14:00 開会式(2日間、同時通訳あり)

17:30 懇親晩餐会

19:30 閉会

2009年9月5日(土)

09:30 開会

12:00 昼食

15:05 閉会

旅行コース

Aコース 2009年9月4日(金)~9月6日(日)
2泊3日

Bコース 2009年9月3日(木)~9月5日(土)
2泊3日

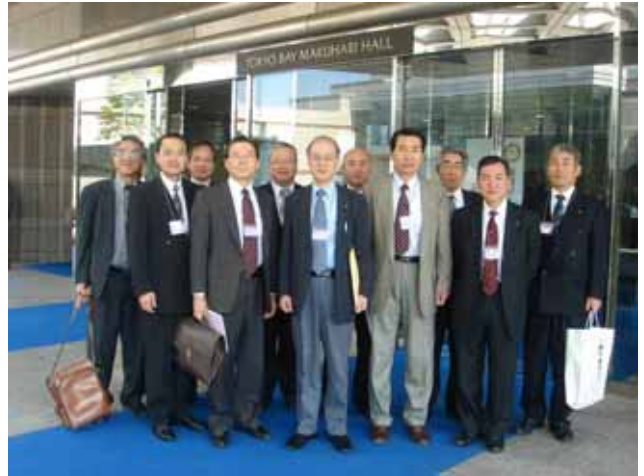
Cコース 2009年9月3日(木)~9月6日(日)
3泊4日

Dコース 2009年9月4日(金)~9月6日(日)
2泊3日

地区協議会

2009年4月29日(水) 昭和の日

アパホテル&リゾート 東京ベイ幕張



前回の例会(4/28)報告

点 鐘 網中 吉郎 会長

出席報告

会員総数 38名 出席規定除外数 9名

出席者 20名 出席率 68.97%

4月14日 確定出席率 72.41%

来訪ロータリアン

なし

欠席者 9名

メイクアップ

網中(吉)君 平野君 石上君 石井君 狩野君

川津君 黒田君 宮内(博)君 澤井君 杉浦君

和田君 (4/29 地区協議会)

スモールコインBOX

小計 ¥ 2,111

累計 ¥ 80,183 -

ニコニコBOX

小計 ¥ 20,000

累計 ¥ 650,100 -

銚子東ロータリー・クラブ

銚子市三軒町19番地の4 銚子商工会館内 TEL0479(23)0750 FAX0479(25)8789

メール c-higashirc@tcs-net.ne.jp URL <http://www.tcs-net.ne.jp/~rc>

例会日時及会場 毎週火曜日 12時30分点鐘 銚子商工会館5階大会議室

会長 網中吉郎 副会長 狩野 勉 幹事 石井哲也

R . I 第2790地区

クラブ広報・会報委員会 川津光雄・田杭啓信・山口廣雄・大木 忠・杉浦 武

表紙題字 網中喜一郎初代会長

ほととぎす 銚子は国の とっばずれ

古帳庵

江戸小網町の豪商鈴木金兵衛夫婦(古帳庵 古帳女)が銚子に遊んだときに
築んだもので、この碑は圓福(円福)寺に現存する。